



西宮ユネスコ協会

西宮ユネスコ

2016.9 第145号

発行所：西宮ユネスコ協会（西宮市六湛寺町8-26 西宮市教育委員会内 TEL 0798(35)3892・FAX 0798(36)1208)

発行人：古 胡 博 巳 編集人：小 林 民 子



～人との出会いの中で～

西宮市立北夙川小学校 校長 米口 征代

仕事の帰り道、校区の方と勘違いして挨拶したことがきっかけで、見知らぬ方とメル友になりました。その方から「北夙川小学校の中庭には、毎年見事なひまわりが咲いていますよ。今年も咲きますか？」とのメールをいただきました。急いで中庭に行ってみると、中庭の花壇にひまわりが、少しずつ育ち始めていました。入学して間もない1年生が、毎朝水やりをしながら友達と語りあっています。何とも可愛らしい光景です。そのひまわりが、1学期の終業式を迎える頃には、私たち大人の背丈を遥かに超え、子どもの数だけ見事な花を咲かせてくれました。圧巻です。「ああ、これかあ」とメールの意味を理解するとともに、このひまわりをずっと見続けてくださっていることを嬉しく思いました。

子供たちが蒔いた種は、1センチほどの小さなものです。その種が2メートルもの高さとなり、私たちの顔よりも大きな葉を広げ、太陽のような花を咲かせます。そして、咲き終わると2千以上もの種を残すのです。どこにその力が備わっているのでしょうか。不思議でたまりません。

1年生の先生が、1冊の絵本を紹介してくださいました。そこには大きく太く育つためのひまわりの工夫が、たくさん描かれていました。種は土の中でたっぷり水を吸って根を伸ばし、やがて地上に芽を出します。ふた葉が開くと今度は、太陽の光を浴びて自分で養分を作ります。そこからがひまわりの工夫です。太陽の光をいっぱい浴びるために、茎は太陽を追いかけて向きを変えます。また、葉が下の葉と重ならないように、互い違いに葉を広げます。そして、花を咲かせるまでは、どんどん葉を広げ、空に向かってぐんぐん伸びていくのです。まるで、太陽の光をつかもうとしているかのように……。中庭のひまわりは、おじぎをするようになってきました。

花は枯れてきましたが、そこから2千粒もの新たな種がうまれようとしています。始業式、1年生の子ども達はどんな歓声をあげてくれるのでしょうか。楽しみです。

1人の人との出会いから、見過ごしかけていた身近な自然に気づき、感動し、子ども達の笑顔に思いを馳せる。私はこんな出来事や時間が嬉しくて、また大好きで、これまで教師をやってこれたんだなあと思います。（ちょっとおかげさですが）

西宮市教育委員会では最後の二年間、人権教育推進課で西宮ユネスコ協会の皆様と出会いました。「人の心の中に平和のとりでを築かねばならない」という一貫した信念をもちつつ、子ども達の笑顔のために明るく元気に、そして暖かく、様々な分野で活躍される姿に人として多くの魅力を感じました。また、チャリティーバザー、世界寺子屋運動の書きそんじハガキの収集、街頭募金活動、国際理解講座、世界児童画展、ユネスコスクール等とともに活動する中で、世界というもっと大きな視点から、子ども達の幸せや、人と共に生きることを考える機会をいただいたような気がします。

先日、地域の夏祭りが本校で行われました。そこで、地域の方のコーナーで「ほおずき」の鉢植えを買いました。小さい頃、オレンジ色の実を見つけると、まるで宝物を見つけたように嬉しくて、服で実をピカピカに磨いては、風船にしたり、実を食べたりして遊びました。少しずつ、せみの鳴き声も小さくなってきた校長室で、ぶっくり膨らむほおずきの実を見つめながら、楽しかった夏祭りの光景と、ふるさとのこと、家族のこと、友達のことを思い出しています。人と出会い、人と共に生きることの素晴らしさを、そして温もりを、これからも大切に伝えていきたいと思っています。

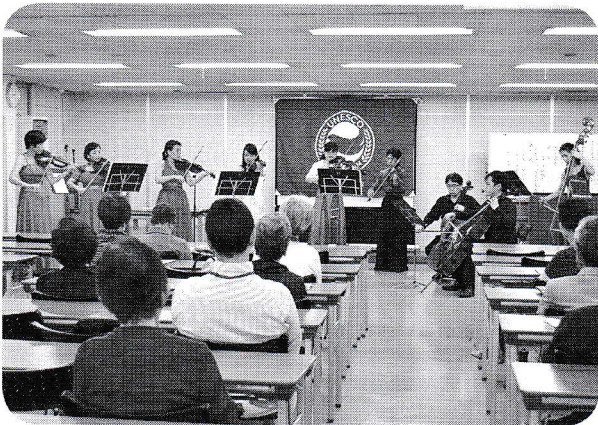
2015年度通常総会

西宮ユネスコ協会の2015年度通常総会は5月14日(土)、西宮市職員会館3F大ホールで開催されました。来賓として今村岳司市長、伊藤博章教育長、西村英雄社会教育部長、野田昭治人権教育推進課長、高橋喜一郎人権教育推進課長補佐の5氏にご出席いただきました。

総会は、辰馬章夫会長の挨拶で始まりました。辰馬会長は「ひとりひとりが地域の課題を見つけ、町づくりに心がけ、郷土愛への思いをESDにつなげ、若い力を育てていきたい」と話されました。次いで今村市長、伊藤教育長より祝辞をいただきました。

議事は辰馬会長が議長となり、2015年度活動報告・会計および監査報告、2016年度活動計画案・予算案が審議され、すべて承認されました。

総会後はプティ・シンフォニー(西宮交響楽団員で編成)によるポピュラーなクラシックの演奏を聴き、その後お茶を飲みながらの懇親会が開かれ、なごやかな一時を過ごしました。



六甲アイランド散策

亀田 トモ

2015年度ウォーキングの会は六甲アイランド散策でした。3月28日(月)、参加者9人は阪神魚崎駅を10時に出発。微かな揺れを体感しながら六甲大橋を徒歩で渡り、10時50分に六甲アイランド北口に到着しました。

島の沿岸部には企業の物流拠点、埠頭などがあり大型トラックが絶えず往来しています。島の中心部は沿岸部より高く、住宅、店舗、学校、病院などの生活エリアが占め、沿岸部からの排ガス、騒音、埃などから守るように緑地帯と遊歩道に囲まれていました。

私達は島の東側の遊歩道を北から南へ歩きました。常緑樹の他に四季折々の花を楽しめる木が植えられています。時期的に桜には出会えませんでした。足元のタンポポやすみれなどを見ながら爽やかな緑道を歩いていると、形も色も大きさも桜の花そっくりの満開の花をつけた1本の木に惹かれました。アーモンドの

木と教わりました。みんな足を止めて笑顔で眺めていました。

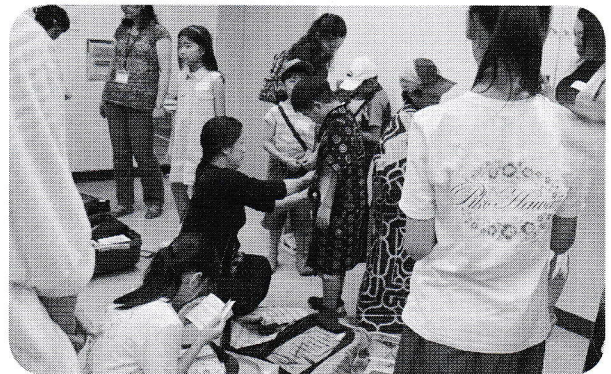
12時半、ゴールの野鳥観察園に到着。ここは広場になっていて、西端には観察用の小窓が幾つもある建物、南端の眼下には神戸港、東端には可愛い鳩ポップ型のトイレ、中央には数脚のベンチ、その他に目に入るのは青空と遙か北の方の六甲山と周囲の緑の樹木のみで、静かな心と空間でした。私達はここで昼食を済ませて、マリナーパーク駅まで歩きました。記念撮影をして、2時に駅で解散しました。一時小雨に遇いましたが、ほど良い日差しの中を約10km、15,000歩ほどの快適な散策でした。

教育機関、医療機関、ホテル、スポーツクラブ、美術館など多種多様な近代的施設を備えたまさに「海上文化都市 六甲アイランド」を実感しました。

みんなく探検

国立民族学博物館(みんなく)は、文化人類学・民俗学の研究活動と、その成果を展示公開する博物館活動を一体的に行う研究です。この博物館を探検する「みんなく探検」を、今年も夏休み期間中の8月9日(火)に開催、28名(小学生17名、中学生1名、保護者10名)の応募参加がありました。館内では西宮ユ協理事で同博物館名誉教授の松澤員子先生、教授の南出和余先生に説明をしていただきました。

今回のテーマは、朝鮮半島とアイヌ民族の文化の探検。朝鮮の人生儀礼(満1歳の誕生日、結婚式、葬式)や、それぞれの食文化、住居などの展示やこの地域に住む人々が自然環境の中で衣装や道具などにどんな工夫が施されているかなど、民俗衣装を試着したり、道具や玩具などを実際に手に取って体感することができました。館内の見学の後、セミナー室で3グループに分かれて感想などを話し合い、先生方の講評もあって子どもたちにとって有意義な夏休み探検になったようです。



参加した皆さんからは「いろいろな民族のことを知ることができて良かった」「アジアの他の民族のことも知りたい」などの感想をいただきました。

今回の「みんなく探検」には、世話係として西宮市教育委員会人権教育推進課の高橋喜一郎課長補佐と西宮ユ協から5名が参加しました。

坂田記念セミナー

「毛馬の閘門」

5月27日(金)晴れ。参加20人。桜の宮公園に集合。大阪治水事務所毛馬排水機場の見学に出発です。満々と水を蓄えた大川の左岸を、春の桜の頃はどれほどの美しさかと思いながら遊歩道(?)を約2km 遡って行きました。途中、地域の氏神「淀川神社」に寄りました。また毛馬と言えば江戸期の俳人と謝蕪村の故郷でもあります。淀川の堤の上には「蕪村生誕地」碑と句碑がありました。「菜の花や月は東に日は西に」

みなさん、毛馬の排水機場、水門、淀川大堰、閘門をご存知でしょうか。一帯は5月の空の下、大パノラマとして広がり、大阪に、淀川に、こんなところがあったのかと、私はただただ驚くばかりでした。

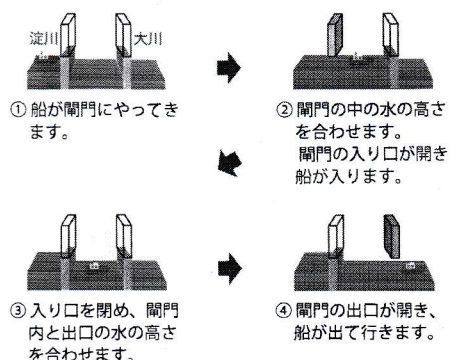
昔の淀川はくねくねと蛇行していたため度々洪水を引き起こしたそうです。そこで、1886年の大水害から大阪を守るためオランダ人 Y・デ・レーケ氏を招聘し、国家100年の淀川水系の治水計画に着手。本格的治水工事を実に一世紀を超えて(1886-1983)歴史に残る施設を完成させたそうです。長く鎖国制度を強いてきた日本。明治の豪傑たちの学びと実行力にいつも驚き感心するばかりの私です。

毛馬施設には淀川大堰と毛馬水門があり、コントロールルームでそれぞれの水量をお昼時とは言え、お一人で調整されていることにびっくりでした。

いよいよ今日のクライマックス。川砂を一杯積んだ船が枚方の方から、一隻また一隻と集まってきました。上流から運ばれてくる大量の砂が枚方付近に堆積し、船の航行の妨げとなるため砂利船の浚渫が欠かせないと。暑い陽射しを受けながら8から10隻の運搬船が前後の門の開け閉めで水量を調整された川に移っていくのを眺め、なるほどと納得しました。

毛馬閘門

水面の高さが違う、淀川と大川を船が行き来できるよう調節します。



敷地内には歴史を物語る建造物が多くあり、今日一日で、この一角で、歴史と科学、そして文化文明の集積を見た思いでした。春、桜、川面の桜、きっと素敵でしょう。

世界遺産シリーズ

美の競合「世界遺産メスキータ」

田岡 清志

スペインアンダルシア地方の内陸部に、在りし日のイスラムの繁栄を物語る古都コルドバがある。

ローマ時代から街が拓かれ8世紀中頃、後ウマイヤ朝の時代には首都として栄えた。そして、その頃キリスト教の聖堂があった場所に建てられたモスクそれが世界遺産「メスキータ」である。メスキータとはスペイン語でモスクという意味である。

セヴィリア行きの新幹線AVEでコルドバ駅に着きタクシーでメスキータに向かうと、遠くから聖堂の「アルミナルの塔」がそびえ立つのが展望できる。

入場料を払い、イスラム様式の「免罪の門」からオレンジの中庭へと進む。秋の日差しの中でオレンジが実っていた。なぜオレンジなのかは解らないが他の遺跡でも見受けられるのでいざという時は食糧となっていたのかもしれない。

モスク内へと入る。メスキータは壮大な規模で一度に2万5千人の信者が収容できたそうである。



そのモスクの空間を支えるのが「円柱の森」と呼ばれる馬蹄形の円柱で850本も林立している。馬蹄形のアーチは赤と白に塗り分けられ連続して空間を構成している。本当に美しく見事だ。こんな空間の中にいると寡黙になってしまう。

コルドバが1236年にキリスト教徒に征服されると再び聖堂として使用されるが「円柱の森」などはそのまま残された。

金色に輝く荘厳な礼拝堂がモスクの中心部にある。偶像崇拝をしないイスラム教のモスクには空間とコーランの文字のみが残され、その中にキリスト教の荘厳な礼拝堂の装飾が施され美を競っている。

キリスト教徒が円柱の森を壊さなかった理由が解るような気がした。この空間の美しさを消し去ることができなかったのだ。



事務局だより

☆ユネスコチャリティーバザー 2016

2016年度ユネスコチャリティーバザーは9月11日(日)、夙川公民館で開催されました。今回で44回となるチャリティーバザーですが、これまでに比べて開催日が1カ月近く早く、まだ残暑厳しい中でのバザーとなり、どれだけ多くのお客様が来てくださるのか心配でした。しかし、午前11時のオープンのときには沢山の皆さんに並んでいただき、会場の都合で時間差で入っていただくという例年通りの有難い状況でした。

今回も開催に合わせて市民の方々から多くの寄贈品をいただきました。心から感謝申し上げます。会員の皆さんの手作り品も売りに上げに貢献していただきました。収益の一部は、東日本大震災子ども教育支援や熊本地震子ども支援に寄付させていただきます。ご協力有難うございました。



☆書きそんじハガキ・募金協力者 (2015.4 ~ 2016.3)

〔幼稚園〕用海・春風・鳴尾東・大社・山口・小松・鳴尾北〔小学校〕瓦林・大社・山口・春風・津門・段上・浜脇・安井・段上西・西宮浜・用海・神原・上ヶ原・小松〔中学校〕瓦木・真砂・甲陵
〔個人〕南健一郎・津田純子・堤真佐美・西口清子・(株)坂下建設・下水整備課伊藤・四元栄津子・八木浄栄・須藤佳子・佐藤・ハッピーマザー・中原朗裕・岸田麻衣子バレエスクール・市民協働推進課〔公民館〕春風・段上・西宮浜〔図書館〕北口・鳴尾(敬称略)
世界寺子屋運動にご協力いただき有難うございました。



祝 受 賞

会員 今西永兒氏(前兵庫県県議会議員)が春の叙勲で「旭日小綬章」を受賞されました。心からお祝い申し上げます。

●●●新入会員●●●

普通会員 茂田 美穂子 〒661-0025 尼崎市立花町
米口 征代 〒661-0044 尼崎市武庫町
樋口 さち江 〒662-0915 西宮市馬場町

協 会 日 誌

(2016年4月~
2016年9月)

- '16.4.7 英語教室第1期開講
- 4.15 手作りの会 (教育委員会3F 第2小会議室)
- 5.12 2016年度兵庫県ユネスコ連絡協議会総会
(芦屋市民センター本館)
- 5.14 2016年度通常総会・会員親睦お茶の会
「ミニコンサート」
出演 プティ・シンフォニー
(西宮交響楽団編成)
(西宮市職員会館3F 大ホール)
- 5.27 研修見学会
“西大阪治水事務所毛馬排水機場”見学他
- 7.15 阪神間ユネスコ協会連絡会(1)
(芦屋市民センター)
- 7.31 近畿ユネスコ協議会総会
(和歌山県男女共同参画センターりいぶる)
- 8.9 “みんぱく探検”(市教委・西宮ユ協共催)
(吹田・国立民族学博物館)
- 9.1 英語教室第2期開講 (プレラ4F)
- 9.11 第44回チャリティーバザー (夙川公民館)
- 9.末 会報145号発行

— 今後の催しの予定 —

- '16.10.10 第37回阪神間ユネスコ協会合同事業
「歌劇の街 宝塚を訪ねて」
(宝塚市立宝塚創造館)
- 10.15 2016年度近畿ブロック
ユネスコ活動研究会 in 吉野山
- 10.22 民間ユネスコ運動の日・募金活動
- 10. 坂田記念セミナー
- 11.5 にしのみやふるさとウォーク 2016
(西宮市立門戸幼稚園~能登運動場)
- 12.4 国際理解講座
(関西学院大学・聖和キャンパス)
- '17.1.13 英語教室第3期開講
 - 1. 新年理事会、懇親会
 - 1. 文楽鑑賞会
 - 2.4 第21回西宮国際交流デー
 - 3. 国際理解講座
 - 3.21 第32回ユネスコ世界児童画展
 - ~26
 - 3.末 会報146号発行